

会津避暑地～緑が映えるこの時期ならではの「涼」巡り～

8月に入ると、会津は夏も真っ盛り。

外出には少し厳しい季節になりますが、少し足を伸ばせば、会津若松市近郊にも涼を感じられるスポットがあります。

真っ青で澄み渡る空と深緑の木々ー 木々の間から溢れる優しい木漏れ日ー 涼しげで爽やかな風が吹く木陰ー そのような涼を五感で感じられるスポットを今回のフォトアルバムでは紹介したいと思います。



鶴ヶ城



会津若松市を代表する観光スポット鶴ヶ城ですが、少し目線を変えて、石垣に沿って散策をするのもおすすめです。

春は桜の花道になり花見客で賑わいますが、夏は涼しい風が吹く中で緑に包まれた森林浴を楽しむことができます。



天守閣の土台になっている天守台の内部でも、涼を感じることができます。

年間を通じて外部より気温が低いいため、昔は塩や保存食などの貯蔵庫として使われていたそうです。

(撮影日 2014/7/30)



白露庭 (はくろてい)

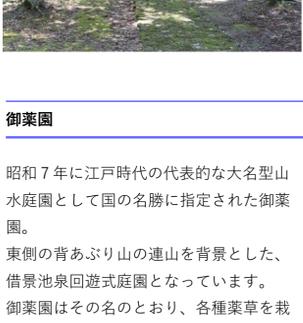
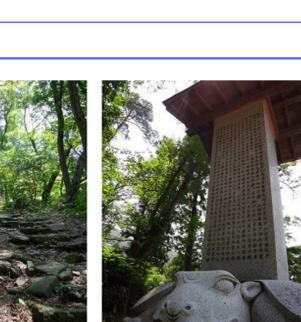
会津藩家老・内藤介右衛門信節の屋敷跡で、遠州流庭園としても名高い白露庭。ヒマラヤスギ、トウカエデの高木、ゴヨウマツ、キャラボク、ツツジ等が植えられており、戊辰戦争での焼失を逃れ歴史的にも貴重な名園です。

現在は福島地方裁判所会津若松支部の敷地の前庭となっています。

市内の中心地にありながら、静かな時の流れを満喫できる癒しの空間となっています。

東屋からの眺めがおすすめです。

(撮影日 2014/7/31)



松平家廟所



東山の山中に、松平家二代目藩主保科正経公以降、代々の藩主とその子孫が眠っている通称院内御廟があります。

頂上の墓所まで行く途中では、舗装のない石畳の山道に木漏れ日がさし、神々しい厳かな雰囲気漂っています。

入峰墓所へ入っていくと、碑石には故人の姓名・生立ち・人柄・終生の経歴・業績など、功徳をたたえる文が詳細に刻まれています。その碑石を支える亀石の大きさにも圧倒されます。

森の匂いとマイナスイオンで心身ともにリラックスできるスポットです。

(撮影日 2014/7/29)



御菜園

昭和7年に江戸時代の代表的な大名型山水庭園として国の名勝に指定された御菜園。

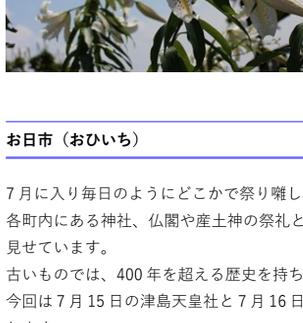
東側の背あぶり山の連山を背景とした、借景池泉回遊式庭園となっています。

御菜園はその名の通り、各種薬草を栽培する薬草園が名前の由来となっています。

数多くの種類の薬草が植えられおり、この日は、蓮、タネニンジンなどの薬草が花をつけていました。

池の水辺を歩いて涼しい風が吹き、薬草の香りと相まってとても気持ち良かったです。

(撮影日 2014/7/30)



背あぶり山

会津若松の東部に位置する、標高840mの背あぶり山。

昭和61年には「日本森林浴の森100選」に選ばれており、貴重な動植物もみることが出来ます。

また、展望台、フィールドアスレチック、キャンプ場などがあり「背あぶり山公園」として市民の憩いの場にもなっています。

展望台からは猪苗代湖、磐梯山、飯豊連峰、そして会津の城下町が一望できます。

夜には星空を見上げ夜風に涼みながら過ごすのもおすすめです。

(撮影日 2014/7/29)



お日市 (おひいち)

7月に入り毎日のようにどこかで祭り囃しが聞こえるようになりました。

各町内にある神社、仏閣や産土神の祭礼としてその日限りのお祭り「お日市」が賑わいを見せています。

古いものでは、400年を超える歴史を持ち、会津の夏の風物詩となっています。

今回は7月15日の津島天皇社と7月16日の石塚観世音菩薩蓮台寺のお日市の様子を紹介します。

一之町通りにあります津島天皇社は通称「きゅうりの神様」として地元の方から呼ばれています。

御利益は疫病除けと水難除けで、夏の疫病予防のため、昔からきゅうりをお供えしお参りするそうです。

(撮影日 2014/7/15)



石塚観世音菩薩蓮台寺は 会津三十三観音の第十九番札所としても知られています。

ご利益は学問成就です。

例年梅雨の時期の雨天にたたられながらも今年も大勢の地元の子供たちで賑わいをみせていました。

(撮影日 2014/7/16)

会津若松河東工業団地

8月の会津若松河東工業団地は緑が生き茂ります。

涼しい木陰でゆっくり読書をするのもよし、爽やかな風の中、じっと緑を眺めるのもよし、と森林浴にはとても良い季節となりました。

この日も隣接する会津若松市河東総合体育館には、のんびりと緑地を散歩する家族連れの姿が見受けられました。

(撮影日 2014/8/1)

残暑厳しい日が続きますが、会津若松市の涼を五感で楽しんでみてはいかがでしょうか。